

給食会たより

令和3年度第10号
(公財)熊本市学校給食会
R4.1.31 文責：本郷

全国学校給食週間

1月24日から30日は「全国学校給食週間」でした。

日本の学校給食は明治時代、家庭が貧しくてお弁当を持ってこられない子どもたちに、ある小学校が無料で食事を用意したのが始まりです。その後、戦争などによって一時中断されましたが、戦後、栄養状態の悪い子どもたちを救うために外国から給食用物資の寄贈を受けて再開されます。その贈呈式が行われた12月24日を「学校給食感謝の日」としましたが、その日は冬休みと重なるので、1月24日からの1週間を「全国学校給食週間」としたそうです。

現在は食生活を取り巻く環境が大きく変化し、偏った栄養摂取や生活習慣病など子どもたちの健康状態が心配されることから、学校給食は食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けさせる重要な役割を果たすとともに、バランスの良い食事のお手本としての「生きた教材」を提供する場でもあります。

熊本市では学校給食に対する子どもたちや保護者の理解を深め関心を高めるため、次のような献立が提供されました。

- 子どもたちが考えた「わくわく楽しい給食作品展」の献立部門の入賞作品の献立
- できるだけ減農薬で作っていただく生産者に感謝する「生産者さん、ありがとう献立」
- 給食の始まりを思い出し食事できることに感謝するため、昔を再現した「素食の日」献立



【小学生が考えた「私のSDGs丼」】
県産のレンコンや人参を皮ごと使用、南関揚げも入れて地産地消を重視



【素食の日】
麦ごはん、根菜の味噌汁、めざし、たくあん、牛乳



【中学生が考えた「鉄分もりもり給食」】
小松菜、豚肉、ひじき等鉄分を多く含む物資と鉄分の吸収を助けるビタミンCが豊富なさつまいもを使用